

平成 26 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,677,485円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、児童クラブ室、事務室 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期	H24 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,273	12,869	11,399	12,297	8,125
	移動児童館利用者数	351	839	448	345	429
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	15	15	12	11	16
	開館日数(単位:日)	150	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおりに実施。 ②所長(正規職員、児童厚生員)、正規職員1人、非常勤職員5人、非常勤休日対応職員1人。(保育士は、所長を含め6人) ③おたより「メロディ」を毎月発行・配布、児童館及び法人のホームページに掲載、ホームページの内容(写真・コメント)を館内に掲示、指定管理者の広報誌「ファミリー」に児童館の活動を掲載。 ④常時ご意見箱を設置するとともに、利用者アンケートを実施し、問題の解決に努めている。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行、玩具については、定期的な消毒と片付け時の破損等の点検を実施。 ③節電の意識を持ち、エアコンについては室内を適温にして使用し、職員による定期清掃の実施、気温、室温をチェック表に記入。幼児や学童の工作においては、廃材の利用に取り組み、また、裏紙の使用を行うことで、省エネルギーと管理経費の縮減に努めた。 ④朝夕の施設外周の見回り点検を実施。玩具については、片付け時に職員が確認し、破損が発見された場合は、おもちゃ病院に修理を依頼した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施。 ②簡易な修繕については、指定管理者(本部)に修繕を依頼した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施。接遇や個人情報、セキュリティなどの研修に参加し、報告会で伝達講習を行うほか、ヒヤリハット記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成27年3月10日～24日に乳幼児クラブ参加者及び自由来館の保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者72人(回収率100%) 回答者の年代 10代1%、20代25%、30代60%、40代10%、50代1%、60代3%(すべて女性)
利用者アンケートの実施結果	○職員について ・挨拶 満足96%、ほぼ満足4%、普通0%、やや不満0%、不満0% ・言葉遣い 満足95%、ほぼ満足3%、普通1%、やや不満0%、不満0%、未記入1% ・対応 満足95%、ほぼ満足4%、普通0%、やや不満0%、不満0%、未記入1% ○施設について ・使いやすさ 満足74%、ほぼ満足19%、普通6%、やや不満0%、不満0%、未記入1% ・整理整頓 満足86%、ほぼ満足11%、普通2%、やや不満0%、不満0%、未記入1% ・室内の清掃 満足83%、ほぼ満足14%、普通2%、やや不満0%、不満0%、未記入1% ・換気 満足72%、ほぼ満足21%、普通4%、やや不満0%、不満0%、未記入3% ○幼児クラブに参加して ・内容 満足77%、ほぼ満足19%、普通2%、やや不満0%、不満0%、未記入2% ・時間 適当95%、短い2%、長い3% ○親子で楽しめた活動 制作(工作)、歌、ダンス(踊り)、体を使った遊び、歌いながらのふれあい遊び(歌遊び)、リズム遊び、体操、トンネルをくぐる遊び・平均台・葉っぱをかける遊び、ダンボール遊び、ハンドベル、ベビーサイン、手形、「かにさん」・抱っこしながらの活動、「バスごっこ」
利用者からの要望・苦情と対応・改善	要望⇒対応 ・リトミック、英語、手の指などを使うこと、手遊び、簡単にできる楽器、風船ボール遊び、人形劇、パネルシアター・エブロンシアターなどをしてほしい。⇒今後も家庭ではできないような遊びや多人数で楽しめる遊びを季節や年齢に合わせて行います。 ・手作りのものが、貼るだけなど、簡単にできるように 準備されていて助かっている方が多いかと思いますが、もう少し自由に色や飾りなど、自分でできたらいいな… と思いました。もう少し長くても良いです。楽しそうだから。⇒参加の方に満足していただけるようにリズム遊び、絵画、制作遊びなど、年齢発達に合わせた質の高い内容を行っていきたいと思います。 ・冬は少し寒いです。⇒空調設定には気を付けていますが、天候などによって床から冷えることもあるかと思えます。お気軽に職員にお声掛けください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	S	S
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		区分評価			A	

効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>当館は駐車スペースが少ないことから車で来館に限りがあることや「雨が降ると来館できないという」声もあり徒歩での来館者が多い。幼児クラブについては、下半期は寒くなることや、感染症が流行の頃参加が減少することをみこし、定員以上の登録を受け入れた。特に「おんぷクラブ」の参加希望は多かった。おんぷクラブでは保護者からの要望が多いリトミックや英語を取り入れた親子ふれあい遊びを行っている。0歳児の自由参加クラブは、他の施設では0歳児のクラブ開催が少ないという声が聞かれるので週1回の定期開催を継続して行っている。ベビーマッサージやベビーサイン、親子ふれあい遊びの他保健師さんによるミニ講座や育児相談会を取り入れた。土日には祖父母、父親と幼児の来館が多くあり、不自由のないように見守り、積極的に声掛けを行うようにした。その結果が接遇アンケートでは職員の対応に満足しているという結果をいただいている。</p> <p>児童については前年度に比べ低学年の利用率が増え、行事への参加率も上がっている。おたよりを見ての保護者からの事前申し込みもいただけるようになってきている。特に定期的に行ったクッキングの活動は毎回人気であった。</p> <p>今年度、利用の児童の中に特に気になる姿を見せる子があった。学校内でのトラブルが後を引き、先生や保護者のいない時に子ども達だけの場面の中で「弱い立場の子」がづらい目に合う様子も見られた。館内では個々の子どものケース会議をもった他、小学校とも連携を取り職員周知、共通理解のもとで児童の指導にあたった。また、保護者の話を十分聞き取ったうえで話し合いをし、児童館、学校での声掛け、指導について理解を得ることが出来た「親育て、親支援」に貢献できたと感じる。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>児童対象の移動児童館では徹明小学校、白山小学校に出向いた。徹明小学校は梅林児童館の区域ではあるが子どもだけで来館するには無理があると感じる。移動児童館では普段は体験できないような内容を計画し楽しんでもらえた。幼児の親子ふれあい事業では梅林だけでなく、白山、徹明にも出向いている。白山の方には移動児童館をきっかけに児童館利用をいただく方も多くある。徹明の方は車での移動手段がなく、乳幼児連れだと自転車移動もままならないという声がある。移動児童館でも十分楽しみ満足していただけるように児童館の幼児クラブに参加するのと同じくらいの内容を盛り込んだ。</p>

<p>今後の取組み</p>	<p>幼児クラブは今後も人気の「おんぷクラブ」の内容を年間を通してより専門要素の濃い内容のあるものにしていきたいと考えている。1、2・3歳登録クラブはこれまで同様、発達をふまえた質の高い遊びを提供すると共に、遊びを通して保護者の方に親子関係の大切さを伝えていきたい。自由参加のクラブでは、母親クラブ、ボランティアなどの活動できる機会をつくり、地域の人材の活躍していただける場所にしていきたい。</p> <p>健全育成活動は生活力が身につけられるようにと取り組み始めたクッキングクラブは子ども達には好評であるので今後も継続して行っていきたい。他にカロム、ディアボロについて継続的に子ども達を誘い掛け、地域の方に指導をいただきたいと思っている。そして、児童には低学年の頃から遊びや、行事活動を通して思いやりの気持ちを育て、規範意識を高めることを意識して子ども達を指導していきたい。来期は特にボランティア育成にも力を入れたいと考える。</p>
---------------	--

●所管課の意見

毎月の「おたより」の発行・配布や、事業内容について詳しい内容がわかるようにホームページで活動内容を写真付きで紹介したことなどが新規利用者の獲得につながっていると考えられる。

下半期は、利用者が天候に左右されたり、体調をくずして来館を控える者があることを予測、登録クラブ定員20名に関わらず参加希望者に利用してもらうこととして、利用者数を確保した。

また、クラブへの要望に「英語の活動」の希望があったことから、リズム遊びを英語で行うことを試みるなど、利用者の声から新しいことに取り組んでいる。

保育士の資格を持つ職員が非常勤職員を含め6名おり、スタッフの充実についても評価できる。

職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。

利用者の要望に応じ、英語を取り入れた新規事業にも取り組んでいる。今後も利用者のニーズに対応した、新たな事業に意欲的に取り組んでいただきたい。

駐車場の増設など施設に関する要望は対応に限界がある。駐車場については、自転車や徒歩の利用を促すなど利用者に工夫してもらうよう呼びかけることも必要である。

また、他の施設での取組みは参考になる事例が多いと考えられるため、施設間でデータや事業内容等の情報を共有し、施設運営に取り入れるなど役立てていただきたい。